

感染症情報 9月16日～22日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	885例(堺市	49例)
②感染性胃腸炎	540例(堺市	57例)
③溶連菌感染症	337例(堺市	35例)
④RSウイルス感染症	134例(堺市	12例)
⑤突発性発疹	50例(堺市	3例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	111例(堺市	7例)
---------	---------	-----

報告数による順位である。前週比10.5%減の2,089件であった。手足口病が府下で9%減、堺市で前週50例→今回49例であった。大阪府の5ブロックで警報レベル開始基準値5を超えている。大阪府では4.49、堺市は2.58であった。感染性胃腸炎が府下で前週から10%減、堺市で前週47例→今回57例であった。溶連菌感染症が府下で14%減、堺市で前週47例→今回35例であった。RSウイルス感染症が府下で19%減、堺市で前週19例→今回12例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で49例→47例で4%減。堺市で7例→12例であった。

インフルエンザが府下で前週94例→今回111例は18%増であった。堺市で前週6例→今回7例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症	791例(堺市	90例)	
大阪府定点	2.58	堺市定点	3.10

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
25	45	59	145	66	68	72	77	58	89	87	791

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府は前回890例→今回791例で11%減、定点当たり2.91→2.58。堺市は前週87例→今回90例で3%増、定点当たり3.00→3.10であった。

麻疹や風疹の報告なし。